

刺しゅう機 型式**:EU-2JSP**



SINGER

この刺しゅう機を安全にお使いいただくため この「使用の手びき」をご使用の前に必ずお 読みください。 「使用の手びき」は、手元に保管し、末長く ご活用ください。 このたびは、シンガー刺しゅう機 EU-2JSP をお買い上げいただき、ありがとうございます。 この刺しゅう機は、対応するシンガーミシンに取り付けて、美しい模様刺しゅう、文字刺しゅ うを楽しむことのできる刺しゅう専用アタッチメントです。

ご注意

- 刺しゅう機 EU-2JSP 対応のシンガーミシンにのみ使用できます。他の機種では使用できませんので、ご購入の際に販売店でご確認ください。
- この刺しゅう機は、家庭用です。業務用には一切使用できません。

安全にご使用いただくために。

この刺しゅう機を安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。 この刺しゅう機は、日本国内向け、家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

⚠ 警告 感電、火災の恐れがあります。

この刺しゅう機に対応したミシンに正しく取り付けてください。
 ミシンの操作は、お使いのミシンの使用の手びきに従って安全に行ってください。

▲ 注意 感電、火災、けがなどの原因となります。

- 1.お客様自身での分解、改造はしないでください。
- 2.刺しゅう機の操作中は、キャリッジ、刺しゅう枠などすべての動いている部分に手 を近づけないでください。
- 3.お子様がご使用になるときや、お子様の近くで使用されるときは、特に安全に注意 してください。
- 4.刺しゅう機に以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、ご購入店、または 別掲の「お客様相談係」にご連絡の上、点検、修理、調整をお受けください。
- ·正常に作動しないとき。 · 落下などにより破損したとき。
- ・水に濡れたとき。
 ・接続コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
- ・異常な臭い、音がするとき。 ・中に異物が入ったとき。
- 5.安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
- 6.スキマに異物を入れたり、ドライバーを差し込んだりしないでください。
- 7刺しゅう機を取り付けたまま、ミシンを持ち運ばないでください。
- 8.直射日光に当てたり、高温多湿のところには置かないでください。
- 9.袋類は、お子様がかぶらないように、お子様の手の届かないところに保管するか、 廃棄してください。

目次 __

安全にご使用いただくために表紙裏
この刺しゅう機の特長1
各部のなまえ 2
操作ホックスの用度調節
刺しゆつ機の取り外し
刺しゅう機の設定(タイトル画面)7
A. 模様選択ボタン7
B. 文字選択ポタン7
C. キャリッジ移動ボタン7
D. 設定ボタン
d-1. 操作音設定
0-11 囲団の濃さ調整
G-III. ダッナハネルの補止7 FLISB ボタン 7
E.USB 小ダン7 F バックアップボタン 7
刺しゅう枠の取り付け
布、糸、針の準備
刺しゅう枠の種類8
布の取り付け方9
テンプレートの使い方9
刺しゅう枠の取り付け方10
刺しゅう枠の取り外し方10
模様の選び方11
模様の設定12
刺しゅう枠の設定12
レイアウトの設定13
設定が終わったら、13
操作を戻りたいとき13
模様のぬい方14
文字の選び方15
ひらがなの選び方15
カタカナの選び方15

漢字の選び方	
アルファベット/数字、記号の選び方	
文字の編集	17
文字の追加	17
文字の削除	17
編集が終わったら、	
乂字の設定	19
文字設定の仕方	
刺しゅつ枠の設定	
レイアリトの設止	20
_{設定が終わ} ったら、 立字のめいち	21
文字をつないでぬう	23
こんなときには、	24
小さい布や布端にぬうには	24
ぬいの途中で糸が切れたり、なくなったら	
停電で止まったら(バックアップ機能)	24
模様一覧(ワンポイント模様)	25
模様一覧(大型模様)	28
模様一覧(キルト模様)	29
文字一覧	
USB メモリから刺しゅうデータを読み込む	t48
追加模様のご案内	49
糸調子について	49
メッヤージー皆	50
刺しゅう継の収納	00 51
	ОТ Б1
お問い合わせまたはご相談先(純正部	品の購
入方法)	52
保証書	夏表紙

この刺しゅう機の特長 -

刺しゅう機に対応したミシンに取り付けるだけで、美しい刺しゅうぬいを楽しむことができます。

100 種類のワンポイント模様、10 種類の大型模様、30 種類のキルト模様を刺しゅうする ことができます。その他に、弊社ホームページには、ダウンロードして使える模様をご用 意しています。それらを USB メモリに保存して読み込み、ぬうこともできます。

ひらがな、カタカナ、アルファベット/数字に加え、名前によく使われる漢字を組み合わ せて、文字刺しゅうをすることができます。

操作は、タッチパネル液晶に表示されるボタンにタッチするだけで、さまざまな設定を行 うことができます。

キャリッジをたたむことができるので、コンパクトに収納することができます。

1

各部のなまえ

刺しゅう機本体

キャリッジ
 キャリッジ開閉ボタン
 刺しゅう枠ホルダー
 調整ネジ脚(3本)
 操作ボックス
 USBメモリ差し込みロ
 接続プラグ
 取り外しレバー

操作ボックス内

9. タッチパネル液晶 10.OK ボタン 11. 削除ボタン(★) 12. 戻るボタン(🏠)

付属品

 13. 刺しゅう押え
 14. 刺しゅう枠(標準)
 15. テンプレート(標準)
 16. 刺しゅう枠(小)
 17. テンプレート(小)
 18. キャリングバッグ
 19. 発泡スチロール(上)
 20. 発泡スチロール(下)
 緩衝材の発泡スチロールは、キャリン グバッグの中に入れて使います。割っ たり、捨てたりしないでください。
 (51ページ参照)

















刺しゅう押えの取り付け

お使いのミシンに刺しゅう押えを取り付けます。

注意:ケガ防止のために 押えを取りかえるときは、必ず、ミシンの電 源スイッチを切ってから行ってください。

- 1. ミシンの電源スイッチを切ります。
- 2. ハズミ車を手前に回して、針を一番上に 上げます。
- 3. 押え上げレバーを上げます。
- 押えホルダー止めネジを外し、押えと押 えホルダーを取り外します。
 (取り外し方は、ミシンの使用の手びきをご覧ください。)
- 5. 押え上げレバーを持ち上げながら、針止 めの軸(C)に刺しゅう押えのアーム(B) が後ろから乗るようにして、刺しゅう押 えを押え棒(A)に取り付けます。
- 7. 押えを上に持ち上げながら、押えホルダー 止めネジを取り付け、しっかり締めます。



刺しゅう機の取り付け



4

10. 送り歯は、項目3で下げていますので、「は い」をタッチします。

もし、下げていないときは「いいえ」をタッチします。画 面 10-a が現れますので、電源スイッチを切り、刺しゅう 機を取り外します。(取り外し方は、6ページ参照) ドロッ プフィードレバーを左にして、送り歯を下げ、刺しゅう機 を再度取り付けます。

「はい」をタッチすると、

→画面に図 11 または、図 12 が現れます。 ●図 11 が現れた場合、このミシンは、ダイ ヤル式糸調子です。糸調子ダイヤルを通常 は「自動」から最初の ● 印までの間で弱く して「OK」ボタンをタッチしてください。

- a 糸調子ダイヤルに刺しゅうの範囲を赤い線で表示したミ シンもあります。その場合、赤の●印に合わせ、「OK」 ボタンをタッチしてください。
- →図12の画面になります。
- 図 11 が現れずに図 12 が現れた場合、この ミシンは、コンピュータ式糸調子です。ミ シンが自動で最適な糸調子に調節します。 手動で糸調子を変えることもできます。ミシンの使用の 手びきをご覧ください。

糸調子は、お使いになる糸や布地によっ て変わってきます。49 ページ「糸調子に ついて」を参照してください。

12. キャリッジの回りに手やものがないことを
 確認して、「はい」をタッチします。
 →キャリッジが動いて刺しゅう開始位置で
 止まり、タイトル画面が現れます。

● 違う画面が現れた場合は、次のようにします。

- 12-a の場合: 糸巻き軸が右に押されています。左に戻して「OK」ボタンをタッチしてください。
- 12-b の場合:フットコントローラーが接続されています。 この刺しゅう機では、フットコントローラー は使えませんので、ミシンから外し、「OK」 ボタンをタッチしてください。
- 12-c の場合:押えが下がっています。押え上げレバーを 上げ、「OK」ボタンをタッチしてください。
- 12-d の場合:針が下がっています。針上下ボタンで針を 上げ、「OK」ボタンをタッチしてください。
- * キャリッジが動くためには、押えや針が上がっていな くてはなりません。



注意

キャリッジは、無理に動かしたり、キャリッジを持ってミシンを移動したりしないでく ださい。故障の原因となります。

●操作ボックスの角度調節

操作ボックスの底部を引いて画面が見やすい 角度に調節してください。

収納するときは、ボックス下部を押し、閉じ てください。

注意

操作ボックスは、あまり強く動かさないでく ださい。故障の原因となります。

刺しゅう機の取り外し

- 1. 刺しゅう枠が取り付けてある場合は、取り 外します。(10 ページ参照)
- 2. タイトル画面のキャリッジ移動ボタン(A) をタッチします。
 →図3の画面が現れます。
 タイトル画面でないときは、「→」ボタンを長めにタッチします。
- キャリッジの回りに何もないことを確認してから、「はい」をタッチします。
 →キャリッジが収納位置に移動します。

 (収納位置に移動しないと、キャリングバックに入りません。)
- 4. ミシンの電源スイッチを切ります。
- 5. 接続プラグ(B)を抜きます。 注意: 接続プラグは図の矢印の方向にまっすぐ引き抜いてく ださい。接続プラグをねじって引き抜くと、刺しゅう 機接続口のピンが破損する恐れがあります。
- 6. 取り外しレバー(C)を下に押しながら、 刺しゅう機を左に引いて取り外します。
- キャリッジ開閉ボタン(D)を押しながら、 カチッと音がするまでキャリッジを時計方 向に回してたたみます。
- ミシンのドロップフィードレバーを右にして、送り歯を上げます。

刺しゅう機をキャリングバックにしまうとき は、51 ページ「刺しゅう機の収納」を参照し てください。





6

刺しゅう機の設定(タイトル画面)

刺しゅう機の取り付けが正しく行われると、タイトル画面が表示されます。

A. 模様選択ボタン

このボタンから、ワンポイント模様、大型模様、 キルト模様を選んでいくことができます。模 様の選び方は 11 ページを参照してください。

B. 文字選択ボタン

このボタンから、ひらがな、カタカナ、アルファ ベット/数字、漢字、記号を組み合わせて選



- んでいくことができます。文字の選び方は、15ページを参照してください。
- C.キャリッジ移動ボタン

刺しゅう機をしまうときは、このボタンをタッチして、キャリッジを収納位置に移動します。(6ページ参照)もう一度タッチすると、刺しゅう開始位置に戻ります。 状態によってボタンの絵が変わります。 止 収納位置に移動 止 開始位置に移動

D.設定ボタン

このボタンをタッチすると刺しゅう機の設定画面が現れます。

設定画面では、以下の設定ができます。

d-i. 操作音設定

ボタンをタッチしたときの音を入切すること ができます。 「ON」をタッチすると音がします。「OFF」を タッチすると音がしません。

設定が終わったら「OK」をタッチします。 安全のため、誤った操作をしたときの警告音は、「OFF」に しても消せません。

電源を入れ直すと、「ON」の設定に戻ります。

d-ii 画面の濃さ調整

画面の濃さを変えることができます。

「+」で濃く、「-」で薄くなります。

設定が終わったら「OK」をタッチします。電源を入れ直すと、初期値に戻ります。(初期値5)

d-iii. タッチパネルの補正

見る角度や指の位置によっては、表示されるボタンをタッチしても、反応しなかったり、 違うボタンが反応してしまったりすることがあります。そのようなときには、タッチパ ネルの補正をしてください。

「タッチパネルの補正」をタッチして、その後、画面に2回表示される+マークの上をそ れぞれタッチして調整ください。

E. USB ボタン

USB メモリに保存した刺しゅうデータを読み込むことができます。読み込むときには、 このボタンにタッチします。(48 ページ参照)

F. バックアップボタン

停電などで、ぬいの途中に電源が切れてしまった場合に使います。(24ページ参照) (通常、このボタンは、表示されません。)



刺しゅう枠の取り付け_

●布、糸、針の準備

【**布地**】薄地や伸縮地などぬいにくい布地には、きれいに仕上げるために布の裏面に接着芯 を貼るか、不織布を布の裏に重ねてください。

ぬい目の細かい模様を複数の色糸で刺しゅうすると、布が糸にひっぱられて縮み、 次の色をぬったときにずれてしまう場合があります。

注意 厚さが2mmより薄い布地を使用してください。2mm以上の厚さの布地 を使用すると、針が折れる恐れがあります。

【糸】

- 下記の糸のご使用をおすすめします。
 - 上糸: ミシン刺しゅう糸 #50 スパン糸...... #60

下糸:スパン糸…………#90(白) 模様は、上糸を色ごとに替えてぬいます。 模様に合わせた色の糸をご用意ください。 模様の色は、模様一覧(25 ページ)を参照 してください。

【針】

家庭用ミシン針(HA × 1)11番

市販の刺しゅう用の家庭用ミシン針(HA × 1EB)をお使いいただくと、きれいに仕上がる場合があります。

●刺しゅう枠の種類

刺しゅう枠には、標準と小の2種類がありま す。ぬう布地や刺しゅうの大きさによって使 い分けます。

【標準】

刺しゅう範囲 たて 10 cm ×よこ 10 cm 全ての模様ぬいや、文字ぬいに

[小]

刺しゅう範囲 たて 4 cm ×よこ 5 cm ワンポイント模様やイニシャル文字ぬいに

🔪 注意:ケガ防止のために

模様や、文字を選ぶときに刺しゅう枠の設定をする画面が あります。 必ず、お使いになる刺しゅう枠と同じ枠を設定してくださ

い。異なる刺しゅう枠を設定すると、針や押えが枠にぶつ かり、ケガや故障の原因となります。

12ページの「模様の設定」を参照してください。







●布の取り付け方

- 1. 外枠の調整ネジをゆるめ、内枠を取り外 します。
- 2. 外枠を平らな台の上に置きます。
- 3. 布を外枠の上に乗せます。
- 内枠と外枠の「I」マークを合わせ、内枠 と外枠の高さがそろうように、内枠を布 の上からはめ込みます。

注意

内枠が高いと、ぬっているときにミシンの針 止めネジが枠に当たることがあります。

- 5. 調整ネジを軽く締め、枠内の布地のたる みを引っ張って直します。
- 6. 調整ネジをしっかりと締めます。



●テンプレートの使い方

テンプレートを使うと正確な位置に刺しゅう をぬうことができます。

- 布のぬいたい位置にチャコペンで印を付けます。
 模様をぬうとき:模様の中心線
 よこ書き文字: 左右の中心線と文字の中心線たて書き文字: 上下の中心線と文字の中心線
 テンプレート右側と下にある▲マークが、
- 内枠の右側と下にある▲マークに合うよ うにしてのせます。
- テンプレートをのせた内枠を、テンプレートのガイドラインと布地の印が合うように布の上にのせます。
- 布地と内枠がずれないようにして、外枠の中にはさみ込みます。
- 5. 調整ネジを軽く締め、枠内の布地のたる みを引っ張って直します。
- 6. 調整ネジを締め、テンプレートを取り外 します。

お知らせ

ぬい位置は、移動ボタンを使って移動することもできま す。(13、21 ページ参照)



●刺しゅう枠の取り付け方

- 取り付ける前に、ミシンの下糸(ボビン糸) が十分あることを確認してください。
 下糸は、使用するミシンの使用の手びきに従って正しく取り付けてください。
- 2. 針と押えを上げます。
- 3. 枠の「I」マークを上にして、押えの下を くぐらせます。
- 朝しゅう枠ホルダーの2つのピンを刺しゅう枠の穴に合わせてしっかりと差し込みます。



●刺しゅう枠の取り外し方

刺しゅう枠の解除レバーを下に押しながら、 刺しゅう枠を右に引きます。



模様の選び方

この刺しゅう機は、140種類の模様を内蔵しています。(25ページ参照) 模様は、ワンポイント、大型、キルトの3つのグループに分けられています。

- 刺しゅう機の取り付けが正しく行われる と、タイトル画面が表示されます。
- 2. 模様選択ボタン(a)をタッチします。
 →3つのグループボタンが表示されます。
 (グループ選択画面)
- ぬいたい模様のグループボタンをタッチ します。 →そのグループの6つの模様が表示され ます。
- スクロールボタン(b, c)をタッチするご とに模様が6つずつ切り替わりますので、 ぬいたい模様が表示されまるでタッチし ます。
- 5. ぬいたい模様が表示されたら、直接その ボタンをタッチします。
 →選ばれた模様と大きさが表示されます。
 (模様確認画面)
 このとき、スクロールボタンを押すと、ひとつ前や次の模様に切り替えることができます。
- 6. ぬいたい模様を選んだら、「OK」ボタン をタッチします。

→設定画面が表示されます。(12 ページ 参照)



模様の設定

模様が選ばれると設定画面が表示されます。 画面の左側には、刺しゅう枠に対する模様の 位置が表示されます。 点線の枠が刺しゅう可能範囲で、中の四角形 が模様を表します。 ここでは、刺しゅう枠の設定、レイアウトの

設定ができます。

設定画面



●刺しゅう枠の設定

|模様を選んだとき、刺しゅう枠は「標準」に設定されます。枠を「小」 にしたいときは、刺しゅ う枠の設定を変えてください。

注意:ケガ防止のために 必ず、お使いになる刺しゅう枠と同じ枠を設定してください。異なる刺しゅう枠を設定す ると、針や押えが枠にぶつかり、ケガや故障の原因となります。

- 1. 模様を選ぶと、設定画面に「枠選択」ボ タンが表示されますので、タッチします。 →枠設定画面になります。
- 2. 使いたい刺しゅう枠のボタンをタッチし ます。 左が「小」、右が「標準」の枠です。

→選ばれた枠のボタンが太くなります。 選んだ模様の大きさが、刺しゅう枠 「小」の刺しゅう 可能範囲を超えるとき、枠「小」は、選べません。

- 3. [OK] ボタンをタッチします。 →色替え停止位置画面が表示されます。
- 4.2色以上の模様で、上糸の色を替えると きの、枠の停止位置を設定することがで きます。 変えたい位置のボタンをタッチします。 →選ばれた位置のボタンが反転します。
- 5. [OK] ボタンをタッチします。 →設定画面に戻ります。 枠を小にすると、左画面の枠の絵が変わ ります。



注意

模様を選び直したり、模様確認画面まで戻ると、枠は「標準」に、色替え停止位置は「枠中央」 に戻ります。

●レイアウトの設定

模様を回転、反転させたり、ぬい位置の移動 をさせたりできます。また、刺しゅう範囲の 確認をすることもできます。 0

1. 模様を選ぶと、設定画面にレイアウトボタンが表示されますので、タッチします。

→レイアウト画面になります。

- a.「 ← ↓ 」 (回転ボタン) をタッチするごとに 模様が 90 度ずつ回転します。 中央の「P」マークもそれに合わせて回転します。
- b.「 ↔ 」(反転ボタン)をタッチすると模様 が反転します。

「P」マークも反転します。再度タッチすると戻ります。

 c.模様を移動するには、移動ボタン①~④を タッチします。

刺しゅう枠が動くので注意してください。

押し続けると大きく移動します。

- d.「P」マークをタッチすると、刺しゅう枠が 動いてぬい範囲を確認することができます。
- 2. レイアウトの設定が終わったら「OK」ボタ ンをタッチします。
 - →設定画面に戻ります。

●設定が終わったら、

- 「OK」ボタンをタッチします。 →刺しゅう機は、数秒間データ処理を行って、刺しゅう開始画面を表示します。
- * このとき刺しゅう枠が開始位置に動きます ので、ご注意ください。 これで刺しゅうぬいをスタートする準備が できました。

ぬい方は、14ページを参照してください。

●操作を戻りたいとき

操作を戻りたいときは、「 **か** 」 ボタンをタッ チします。 ボタンをタッチするごとに1 ステッ プずつ戻ります。 また、「 **か** 」 ボタンを長くタッチし続けると タイトル画面まで戻せます。

(確認のメッセージがでます)

注意

設定(枠設定、レイアウト設定)は、模様を選び直したり、模様確認画面まで戻ると、初 期状態に戻ります。



OK

+X

←

枠選択



文字の選び方.

この刺しゅう機には、ひらがな、カタカナ、 アルファベット/数字、記号に加え、名前 によく使われる漢字を多く内蔵しています。 (32ページ文字一覧参照)

 刺しゅう機の取り付けが正しく行われる と、タイトル画面が表示されます。
 文字選択ボタンをタッチします。

→文字選択画面が表示されます。

●ひらがなの選び方

- 1. 文字選択画面から選びたい「かな」の行 を選びます。
 →その行のかなが表示されます。
- 2. 選びたいかなをタッチします。
 →選ばれたかなが、右上に表示されます。
 濁点、半濁点、小文字にするには、さらに「ご」」
 ボタンをタッチします。

 間違えたときは「★★」ボタンで削除できます。
- 同じようにして次のかなを選んでいきます。
 - →右上に追加されます。
- 4. 選び終わったら、OK ボタンをタッチしま す。

→文字編集画面に変わります。

(17 ページ参照)

●カタカナの選び方

- 1. 文字選択画面からひらがなと同じ要領で ひらがなのまま選びます。
- 選び終わったら、「カタカナ」をタッチします。

→選ばれたかながカタカナになって、文 字編集画面に変わります。(17 ページ参 照)





文字の編集

文字編集画面で、文字の追加、削除、保存/読出ができます。

選んだ文字は、画面上段に表示されますが、 表示しきれないときは、一部を表示します。 左右の「く】」「 ・」が反転しているときは、 それをタッチすることにより、表示させるこ とができます。

●文字の追加

1.「追加」をタッチします。
 →文字選択画面が表示されます。

2. 文字を選んで追加できます。
 ひらがな、カタカナ、アルファベット/数
 字、記号、漢字を追加することができます。
 刺しゅう範囲を超える文字数は、追加できません。

●文字の削除

「削除」をタッチします。 →最後に選んだ文字が削除されます。 「 ✔ 」ボタンでも削除されます。 タッチし続けると全部削除されます。

<u>編集が終わったら、</u>

「OK」ボタンをタッチします。 →設定画面が現れます。(19 ページ参照) ◎ 文字は、保存していなくてもぬうことができます。

●文字の保存

文字の組み合わせを2通り保存させる事が できます。

保存されるのは、文字の組み合わせのみです。 設定(19ページ参照)は保存されません。

保存の仕方

- 1. 文字を選びます。
- 2. 文字編集画面で「保存/読出」をタッチ します。
 - →保存/読出画面に切り替わります。
- フォルダが2つありますので、どちらか をタッチして選びます。

→フォルダが反転表示されます。

- 4.「保存」をタッチします。
 →文字が保存され、フォルダの絵が「保 存データあり」に変わります。
- 5.「戻る」をタッチします。→文字編集画面に戻ります。



17

保存した文字の読み出し

- タイトル画面から「文字選択」ボタンを タッチします。
 →文字選択画面が表示されます。
- ○CK」ボタンをタッチします。
 →文字編集画面が表示されます。
- 3.「保存/読出」をタッチします。
 →保存/読出画面が表示されます。
- 4. 読み出したい「保存データあり」フォル ダを選びます。

→フォルダが反転表示されます。

5.「読出」をタッチします。 →文字が読み出されます。(文字編集画面) 読み出された文字は、編集したり、OK ボタンで設定、 ぬいに進んだりすることができます。

保存した文字の削除

- 保存/読出画面で、 削除したい「保存データあり」フォルダ を選びます。 →フォルダが反転表示されます。
- 2.「削除」をタッチします。
 →削除確認画面が表示されます。
 3-a そのまま削除したい場合は「はい」をタッ
- チします。 →削除され、フォルダが「保存データなし」

に変わります。

- 3-b 削除しない場合は、「いいえ」 →削除されないで保存/読出画面が表示 されます。
- 3-c 内容を確認したい場合は、「データを表示」をタッチします。 →内容が表示されます。 削除する場合は、「はい」、しない場合は、

「いいえ」をタッチします。

→保存/読出画面になります。

4.「戻る」をタッチします。→文字編集画面に戻ります。





文字の設定

文字編集画面で「OK」をタッチすると設定画面になります。

画面左側に刺しゅう枠に対する文字の大きさ と位置が表示されます。

点線の枠が刺しゅう可能範囲で、中の四角形 が文字を表します。

ここでは、

文字設定(文字の大きさ、向き) 刺しゅう枠の設定、レイアウトの変更(文字 の回転、反転、移動、文字間隔の調整、ぬい 開始位置、ぬい位置の確認)ができます。

お知らせ:

刺しゅう範囲を超える設定は、選べません。 文字数、刺しゅう枠、文字大きさ、文字間隔 などを変えると刺しゅう範囲が変わり、設定 可能となる場合があります。

●文字設定の仕方

- 1. 設定画面で「文字設定」をタッチします。 →文字設定画面が表示されます。
- 2. 画面左側に文字の大きさが表示されます。 下段の「-」「+」で大きさを変えられます。(10.0 mm ~ 30.0 mm:初期値10.0 mm) 中央の「RST」(リセット)をタッチする と初期値(10.0 mm)に戻ります。
- 3. 文字の向きを「たて」「よこ」をタッチして、 切り替えられます。(初期値よこ書き) 選ばれた方が反転しています。
- 4. 文字設定が終わったら「OK」ボタンをタッ チします。
 - →設定画面に戻ります。





●刺しゅう枠の設定

- 1. 設定画面で「枠選択」をタッチします。 →枠設定画面が表示されます。
- 2. 使いたい枠をタッチします。 左が 「小」、右が 「標準」の枠です。 →選ばれた枠のボタンが太く表されます。 選んだ文字の大きさが、刺しゅう枠 「小」の刺しゅう 可能範囲を超えるとき、枠「小」は、選べません。
- 3. [OK] ボタンをタッチします。 →設定画面に戻ります。 枠を小にすると、左画面の枠の絵が変わります。



0K

+X

0K

広くなる

0K 5

 \gg +X

注意:ケガ防止のために 必ず、お使いになる刺しゅう枠と同じ枠を設定してください。異なる刺しゅう枠を設定す ると、針や押えが枠にぶつかり、ケガや故障の原因となります。







文字をつないでぬう

文字数が多くて 1 回ではぬいきれないときは、 何回かに分けて、つないでぬうことができま す。

- 1. まず、始めの何文字かを選び、ぬいます。
- 2. 刺しゅう枠を取り外します。

さい。

- ぬい終わりの部分が次のぬい始めになるように布を貼り替えます。
 このとき、ぬい方向が曲がらないように注意してくだ
- 4. 刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。
- 5. 前の文字を削除して、続きの文字を選びま す。
- 6.「OK」ボタンをタッチして、設定画面にし ます。
- 7.「レイアウト」をタッチします。
 →レイアウト画面になります。
- 8.「【X】」(ぬい始めボタン)をタッチします。
- 9.「キャリッジが動きます」というメッセージがでますので、安全を確認して「はい」をタッチします。
 →針がぬい始めの位置にくるように刺しゅう枠が移動します。
 よこ書き文字の場合は、左下になります。
 ボタンが「火」」に変わります。
 - たて書き文字の場合は、中上になります。
 - ボタンが「「凵」に変わります。
- 10. 移動ボタンを使って、針が最初のぬい終わりの位置にくるように調整します。 このとき、針や押えは下げないでください。
- 11.「OK」をタッチします。
- 12.「キャリッジが動きます」というメッセー ジがでますので、安全を確認して「はい」 をタッチします。
 - →針がぬい範囲の中心に戻ります。
 - →設定画面になります。
- 13.「OK」をタッチします。
 - →刺しゅう開始画面になります。
- 14. ぬいをスタートします。





こんなときには、__

Α

B

С

ぬいを完了したり、途中で「一つ」ボタンをタッチしてぬいをやめた場合、バックアップボタンは現れません。 バックアップ機能は内蔵した模様や文字にのみ有効です。USBメモリから読み込んだデータはバックアップされません。

模様一覧(ワンポイント模様)

この一覧には、模様番号、たての大きさ、よこの大きさ、おおよそのぬい時間、ぬう糸の 色を表示しています。

写真と実際の刺しゅうとでは、形が少し異なることがあります。

糸の色はぬうときの目安です。いろいろ試しぬいをしてお好みの色でぬってください。



co.jp) 製、「マスタークリップ」のクリップアートを使用しています。









8分

1. 黄緑 2. 黄色 3. ピンク







この刺しゅう機でぬえる文字は、人名などによく使われるものから選んでいます。お客様 のぬいたい文字が含まれていない場合は、ご容赦ください。 次ページからの文字一覧では、読みの変換で候補にでてくる文字を五十音順に並べていま す。候補には、ひらがな、カタカナも含まれます。 刺しゅう機では、入力された読みで始まる全ての文字が候補として表示されます。 文字一覧と実際の刺しゅうとでは、文字形状が異なります。

—ひらがな —	カタカナ	記号
あいうえお	アイウエオ	ー 々、。•:;/「」¬∟()~〜?!&@\$#
かきくけこ	カキクケコ	♪~∫[::0123456789
さしすせそ	サシスセソ	──_──」は、たて書きのかっこ。 [は全角のスペース。 [は、半角の
たちつてと	タチツテト	スペースです。
なにぬねの	ナニヌネノ	ーアルファベット (ゴシック体)ー
はひふへほ	ハヒフヘホ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
まみむめも	マミムメモ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
やゆよ	ヤユヨ	0123456789-,.':;/?!&@\$#()<>
らりるれろ	ラリルレロ	
わをん	ワヲン	アルファベット (明朝体)
がぎぐげご	ガギグゲゴ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
ざじずぜぞ	ザジズゼゾ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
だぢづでど	ダヂヅデド	0123456789-,.':;/?!&@\$#()<>LL]
ばびぶべぼ	バビブベボ	
ぱぴぷぺぽ	パピプペポ	- アルファベット (筆記体)
あいうえお	アイウエオ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
っゃゆよ	ッヤユヨ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
		<i>0123456789-,.':;/?!&@\$#()<></i>

ーアルファベット (オールドイングリッシュ)— ABCDEFGHJIKLMNOPORSCHHWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789-,.':;/?!&^{@\$#}()<>____

文字一覧_

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
		あさ	朝	あま	夭	い	為	いま	今
あ	あ	あさ	麻	あま	尼	い	衣	いもうと	妹
あ	P	あさい	浅	あまい	甘	い	倭	いる	居
あ	亜	あさひ	旭	あまる	余	い	井	いる	射
あ	阿	あざ	字	あみ	網	い	亥	いる	λ
あい	爱	あし	芦	あめ	雨	いえ	家	いる	要
あい	相	あし	足	あや	絇	いおり	庵	いれる	容
あい	藍	あし	疋	あや	綾	いかり	碇	いろ	色
あいだ	間	あじ	味	あや	彩	いきおい	勢	いろどる	彩
あう	逢	あずさ	梓	あゆ	鮎	いきる	生	いわ	岩
あう	会	あぜ	畦	あゆむ	步	いく	育	いわう	祝
あう	合	あぜ	畔	あらい	荒	いく	郁	いわお	巖
あお	青	あそぶ	遊	あらう	洗	いく	行	いん	允
あお	蒼	あたえる	与	あらかじめ)予	いけ	池	いん	Ер
あお	碧	あたたかい	温	あらし	嵐	いさお	勲	いん	引
あおい	葵	あたま	頭	あらためる	改	いさお	功	いん	胤
あか	赤	あたらしい	新	あらわす	表	いさぎよい	潔	いん	蔭
あかね	茜	あたり	辺	ある	在	いさむ	勇	いん	院
あかるい	明	あたり	邊	ある	有	いさめる	諌	いん	陰
あがた	県	あたり	邉	あるく	步	いし	石	いん	音
あがた	縣	あたる	当	あわ	粟	いずみ	泉	う	
あき	穐	あつい	渥	あわい	淡	いそ	磯	う	う
あき	秋	あつい	厚	あん	安	いそ	礒	う	ウ
あきなう	商	あつい	淳	あん	庵	いた	板	う	右
あきらか	晃	あつい	篤	あん	杏	いち	-	う	宇
あきらか	彰	あつい	惇	あん	行	いち	壱	う	羽
あきらか	昭	あつい	敦	あんず	杏	いち	市	う	雨
あきらか	晶	あつい	熱	い		いつ	逸	う	卯
あきらか	章	あつめる	集	い	い	いつくしむ	慈	う	鵜
あきらか	亮	あてる	充	い	ゐ	いつつ	五	うい	初
あく	空	あと	後	い	イ	いと	糸	うえ	上
あくた	芥	あと	跡	い	ヰ	いぬ	犬	うえる	植
あくつ	圷	あな	穴	い	位	いぬい	乾	うお	魚
あけぼの	曙	あね	姉	い	伊	いね	稲	うく	浮
あける	開	あぶ	虻	い	依	いのしし	猪	うける	享
あげる	上	あぶら	油	い	惟	いばら	茨	うし	丑

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
うし	牛	え	会	お		おごそか	厳	おんな	女
うしろ	後	え	恵	お	お	おさない	稚	か	
うじ	氏	え	江	お	オ	おさない	幼	か	か
うす	碓	え	重	お	緒	おさめる	治	か	カ
うす	臼	え	柄	お	小	おさめる	修	か	カ
うすい	薄	えい	叡	お	尾	おさめる	納	か	ケ
うた	唄	えい	影	おい	笈	おしえる	教	か	榎
うた	歌	えい	曳	おいて	於	おす	押	か	下
うた	詩	えい	永	おいる	老	おす	雄	か	佳
うち	内	えい	栄	おう	央	おちる	落	か	加
うつ	征	えい	瑛	おう	奥	おつ	乙	か	可
うつ	打	えい	英	おう	押	おっと	夫	か	夏
うつくしし	〕美	えい	衛	おう	横	おと	音	か	嘉
うま	馬	えき	益	おう	王	おとこ	男	か	家
うまれる	生	えだ	枝	おう	翁	おとずれる	訪	か	科
うみ	海	えつ	悦	おう	黄	おとろえる	衰	か	果
うめ	梅	えつ	越	おう	鴨	おなじ	同	か	歌
うやうやしい	苏	えのき	榎	おう	桜	おに	鬼	か	火
うやまう	敬	えび	蛯	おう	櫻	おのおの	各	か	河
うら	浦	えびす	戎	おう	追	おのれ	己	か	花
うらない	ト	えむ	笶	おうぎ	扇	おびる	带	か	茄
うらなう	占	えり	衿	おおい	多	おぼえる	覚	か	華
うり	瓜	える	得	おおきい	大	おも	主	か	霞
うるおう	潤	えん	円	おおとり	鳳	おもい	重	か	日
うるし	漆	えん	園	おおやけ	公	おもて	表	かい	介
うるわしし	〕麗	えん	延	おか	岡	おや	親	かい	会
うれい	愁	えん	演	おき	沖	およぶ	及	かい	改
うれしい	嬉	えん	猿	おきな	翁	おりる	降	かい	海
うん	運	えん	艶	おぎ	荻	おる	織	かい	皆
うん	雲	えん	苑	おく	屋	おる	折	かい	芥
え		えん	薗	おく	奥	おろす	下	かい	蟹
え	え	えん	遠	おく	置	おん	遠	かい	開
え	る	えん	塩	おくれる	後	おん	恩	かい	階
え	エ	えん	媛	おけ	桶	おん	温	かい	堺
え	工	えん	淵	おこす	興	おん	音	かい	桧
え	依	えん	渕	おこなう	行	おん	御	かい	檜

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
かい	貝	かじ	梶	かぶ	蕪	かん	甘	がん	巌
かう	飼	かす	糟	かぶ	株	かん	管	がん	岩
かえで	楓	かす	粕	かぶと	甲	かん	諌	がん	元
かえる	替	かすみ	霞	かぶらや	鏑	かん	貫	き	
かおり	香	かず	数	かべ	壁	かん	間	き	き
かおり	芳	かぜ	風	かま	釜	かん	関	き	キ
かおる	馨	かた	潟	かま	鎌	かん	館	き	磯
かおる	薫	かた	片	かみ	紙	かん	舘	き	企
かかり	係	かた	方	かみ	上	かん	串	き	喜
かがみ	鏡	かたい	堅	かみ	神	かん	甲	き	基
かがやく	輝	かたい	難	かめ	亀	かん	菅	き	嬉
かき	垣	かたち	形	かも	鴨	かんがえ	る考	き	岐
かき	柿	かたな	Л	かや	茅	かんばし	い芳	き	寄
かぎ	鍵	かたる	語	かや	萓	が		き	希
かく	各	かたわら	傍	かゆ	粥	が	が	き	旗
かく	覚	かつ	割	から	空	が	ガ	き	気
かく	角	かつ	滑	から	唐	が	我	き	毅
かく	郭	かつ	葛	からい	辛	が	峨	き	季
かく	鶴	かつ	克	かる	XI	が	芽	き	紀
かく	塙	かつ	勝	かる	苅	が	賀	き	規
かけい	筧	かつて	曽	かる	狩	が	雅	き	記
かける	掛	かつて	曾	かるい	軽	がい	亥	き	貴
かける	翔	かつら	桂	かわ	河	がい	外	き	輝
かげ	蔭	かど	角	かわ	Л	がい	苅	き	鬼
かげ	陰	かど	門	かわく	乾	がく	学	き	亀
かげ	影	かど	廉	かわす	交	がく	岳	き	己
かげ	景	かな	哉	かわる	代	がく	楽	き	其
かご	篭	かなう	마	かん	乾	がく	額	き	槻
かご	籠	かなでる	奏	かん	寒	がく	鶴	き	黄
かさ	笠	かなめ	要	かん	勘	がく	嶽	き	樹
かさ	嵩	かに	蟹	かん	卷	がつ	合	き	生
かさなる	重	かね	金	かん	完	がつ	月	き	木
かし	樫	かね	鐘	かん	寛	がま	蒲	きく	菊
かしこい	賢	かねる	兼	かん	千	がら	柄	きく	鞠
かしら	頭	かば	樺	かん	幹	がん	丸	きく	利
かしわ	柏	かば	椛	かん	漢	がん	岸	きし	岸

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
きずく	築	きょう	狭	ぎょう	行	くま	熊	け	ケ
きた	北	きょう	興	ぎょく	玉	くま	隈	け	家
きたえる	鍛	きょう	郷	ぎん	銀	くみ	組	け	茟
きたる	来	きょう	鏡	<		<&	粂	け	気
きち	吉	きょう	響	<	<	くも	雲	け	毛
きつ	橘	きょう	饗	<	ク	くもる	雲	けい	馨
きつ	詰	きょう	経	<	久	<5	倉	けい	京
きつね	狐	きょう	香	<	宮	<5	蔵	けい	境
きぬ	絹	きょく	旭	<	九	くらい	位	けい	係
きね	杵	きょく	極	<	玖	くらべる	比	けい	刑
きびしい	厳	きり	桐	<	矩	くり	栗	けい	啓
きみ	君	きる	切	<	駒	くりや	厨	けい	圭
きゅう	臼	きわ	際	<	功	くる	来	けい	形
きゅう	久	きわめる	極	<	П	くるま	車	けい	恵
きゅう	及	きん	錦	<	区	<n< td=""><td>呉</td><td>けい</td><td>慶</td></n<>	呉	けい	慶
きゅう	宮	きん	欣	<	エ	くれない	紅	けい	敬
きゅう	弓	きん	欽	<	紅	くれる	暮	けい	景
きゅう	笈	きん	琴	くう	空	くろ	黒	けい	桂
きゅう	九	きん	筋	くう	食	くろがね	鉄	けい	畦
きゅう	玖	きん	芹	くぎ	釘	くわ	桑	けい	経
きゅう	鳩	きん	衿	くさ	草	くわ	鍬	けい	継
きよい	清	きん	近	くし	串	くわえる	加	けい	蛍
きょ	居	きん	金	くし	櫛	くわだてる	5 企	けい	軽
きょ	渠	きん	今	くじら	鯨	くん	勲	けい	勁
きょう	杏	ぎ		くすのき	楠	くん	君	けずる	削
きょう	亨	ぎ	ぎ	くすり	薬	くん	薫	けた	桁
きょう	京	ぎ	ギ	<ず	葛	ぐ		けつ	傑
きょう	享	ぎ	儀	くだ	管	<,	ぐ	けつ	穴
きょう	協	ぎ	宜	くだる	下	<	グ	けつ	潔
きょう	匡	ぎ	義	くち	D	<	具	けつ	結
きょう	裔	ぎ	礒	<>	沓	ぐう	宮	けわしい	峨
きょう	境	ぎゃく	逆	くに	国	ぐう	隅	けん	絇
きょう	強	ぎゅう	4	くに	邦	ぐん	軍	けん	萓
きょう	恭	ぎょ	魚	くばる	配	ぐん	郡	けん	間
きょう	教	ぎょ	御	くび	首	け		けん	健
きょう	橋	ぎょう	形	<ぼ	窪	け	け	けん	兼

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
けん	剣	Z	己	こう	弘	こころ	ら	Ĩ	後
けん	堅	ĩ	È	こう	恒	こころざき	す志	Ĩ	悟
けん	建	ĩ	湖	こう	晃	こし	腰	Ĩ	語
けん	憲	ĩ	狐	こう	更	こし	輿	Ĩ	護
けん	拳	Z	股	こう	校	こす	越	Ĩ	醐
けん	権	ĩ	胡	こう	江	こずえ	梶	ごう	強
けん	犬	ĩ	菰	こう	洪	こずえ	梢	ごう	郷
けん	研	ĩ	虎	こう	浩	こと	事	ごう	剛
けん	絹	ĩ	黄	こう	港	こと	琴	ごう	合
けん	県	ĩ	子	こう	溝	ことぶき	寿	ごう	豪
けん	見	ĩ	児	こう	甲	このむ	好	ごう	車
けん	謙	ĩ	ト	こう	紅	こぶし	拳	ごく	極
けん	賢	Ž	木	こう	紘	こま	駒	ごとに	毎
けん	鍵	こい	鯉	こう	耕	こまかい	細	ごん	権
けん	筧	こい	濃	こう	綱	こむ	込	ごん	厳
けん	縣	こう	黄	こう	考	こめ	米	さ	
けん	蜷	こう	岡	こう	航	こめる	篭	さ	さ
げ		こう	亨	こう	行	こめる	籠	さ	サ
げ	げ	こう	興	こう	荒	こやす	肥	さ	佐
げ	ゲ	こう	桁	こう	降	これ	是	さ	左
げ	下	こう	後	こう	香	これ	之	さ	嵯
げ	夏	こう	交	こう	高	ころも	衣	さ	沙
げ	外	こう	公	こう	鴻	こん	金	さ	砂
げい	芸	こう	光	こう	鮫	こん	建	さ	紗
げい	鯨	こう	功	こう	尻	こん	今	さ	茶
げつ	月	こう	厚	こう	廣	こん	昆	さい	哉
げん	元	こう	D	こう	洸	こん	根	さい	最
げん	原	こう	向	こう	神	こん	紺	さい	妻
げん	厳	こう	好	こおり	氷	ご		さい	宰
げん	弦	こう	孝	こく	克	Č	ご	さい	彩
げん	源	こう	宏	こく	国	Č	ゴ	さい	オ
げん	彦	こう	エ	こく	黒	Ĩ	五	さい	歳
<u> </u>		こう	巧	こく	石	Ĩ	伍	さい	采
۔ ک	こ	こう	幸	こく	谷	Ĩ	呉	さい	祭
۔ ک	1	こう	広	ĩĩ	此	Ĩ	吾	さい	斎
r L	古	こう	康	ここのつ	九	Ĩ	御	さい	細

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
さい	菜	さとい	聡		嗣	LL	宗	Lø	諏
さい	際	さとい	敏	L	Ŧ	しずか	静	しゅう	穐
さい	柴	さとす	諭	L	四	しずめる	鎮	しゅう	周
さい	切	さとる	悟	L	姉	した	下	しゅう	宗
さい	齋	さます	覚	L	子	したしい	親	しゅう	修
さいわい	幸	さむい	寒	L	市	しち	七	しゅう	愁
さいわい	祥	さむらい	Ŧ	L	志	しつ	櫛	しゅう	秀
さえる	冴	さめ	鮫	L	師	しつ	室	しゅう	洲
さか	坂	さら	更	L	指	しつ	漆	しゅう	秋
さか	阪	さら	Ш	L	施	しな	B	しゅう	習
さかい	境	さる	猿	L	枝	しの	篠	しゅう	舟
さかい	堺	さわ	沢	L	氏	しのぶ	忍	しゅう	集
さかえる	栄	さわ	澤	L	糸	しば	柴	しゅう	袖
さかき	榊	さわやか	爽	L	紙	しば	芝	しゅう	柊
さかな	魚	さん	Ξ	L	紫	しぶい	渋	しゅく	粥
さからう	逆	さん	山	L	詩	しま	島	しゅく	宿
さかん	盛	さん	讃	L	諮	しま	嶋	しゅく	祝
さき	崎	ざ		L	飼	しま	嶌	しゅつ	出
さき	先	ざ	ざ	L	只	しみる	染	しゅん	峻
さく	作	ざ	ザ	L	巴	しめる	占	しゅん	俊
さく	削	ざ	座	L	矢	しも	霜	しゅん	春
さく	割	ざい	在	しあわせ	幸	しゃ	砂	しゅん	駿
さく	咲	ざい	財	しい	椎	しゃ	射	しゅん	隼
さくら	桜	ざつ	雑	しいる	強	しゃ	社	しょ	初
さくら	櫻	し		しお	塩	しゃ	紗	しょ	所
さけ	酒		l	しお	汐	しゃ	者	しょ	渚
さげる	下		シ	しお	潮	しゃ	車	しょ	緒
ささ	笹		梓	しか	鹿	しゅ	主	しょ	諸
ささえる	支		茨	しき	式	しゅ	取	しょう	篠
さす	刺		柿	しき	識	しゅ	手	しょう	匠
さす	指		仕	しき	織	しゅ	守	しょう	勝
さだめる	定		支	しぎ	鴫	しゅ	狩	しょう	升
さち	幸		使	しく	敷	しゅ	珠	しょう	商
さつ	札		司	しげる	滋	しゅ	種	しょう	唱
さと	郷		刺	しげる	繁	しゅ	酒	しょう	奨
さと	里		史	しげる	茂	しゅ	首	しょう	小

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
しょう	将	しん	信	じき	食	じん	人	すけ	輔
しょう	シ	しん	ら	じき	直	じん	仁	すけ	佑
しょう	尚	しん	慎	じく	究	じん	尋	すけ	祐
しょう	庄	しん	晋	じつ	実	じん	Ŧ	すげ	菅
しょう	床	しん	新	じつ	日	じん	甚	すこし	シ
しょう	彰	しん	森	じゃく	若	じん	陣	すこやか	健
しょう	昇	しん	榛	じゅ	寿	す		すじ	筋
しょう	昌	しん	深	じゅ	樹	ਰੁ	す	すじ	條
しょう	昭	しん	神	じゅう	充	ਰੁ	ス	すすむ	晋
しょう	松	しん	真	じゅう	住	ਰੁ	子	すすむ	進
しょう	晶	しん	紳	じゅう	+	ਰ	洲	すすめる	奨
しょう	梢	しん	秦	じゅう	柔	す	須	すすめる	薦
しょう	沼	しん	臣	じゅう	戎	す	諏	ਰੁਰੁੱ	鈴
しょう	渉	しん	親	じゅう	渋	す	素	すずしい	涼
しょう	照	しん	辛	じゅう	重	すい	出	すな	沙
しょう	祥	しん	進	じゅん	淳	すい	吹	すな	砂
しょう	笶	しん	針	じゅん	準	すい	垂	すなわち	則
しょう	章	しん	辰	じゅん	潤	すい	水	すべる	滑
しょう	肖	しん	津	じゅん	純	すい	衰	すみ	隅
しょう	菖	しん	槙	じゅん	醇	すい	翠	すみ	炭
しょう	蕉	じ		じゅん	順	すい	穂	すみやか	速
しょう	鐘	U	じ	じょ	助	すう	嵩	すむ	住
しょう	翔	U	ジ	じょ	女	すう	数	すむ	澄
しょく	植	じ	事	じょ	鋤	すえ	末	すむ	栖
しょく	織	じ	字	じょう	上	すき	鋤	すもも	李
しょく	色	じ	児	じょう	丈	すぎ	杉	する	摩
しょく	食	じ	寺	じょう	丞	すぎ	椙	すわる	座
しり	尻	じ	慈	じょう	乗	すく	好	ず	
しる	知	じ	持	じょう	城	すく	透	ਰੈ	ず
しるし	ép	じ	時	じょう	場	すくない	チ	ਰੈ	ズ
しるす	記	じ	次	じょう	常	すぐれる	優	ਰੁੱ	事
しるす	銘	じ	滋	じょう	条	すけ	介	ਰੁੱ	Z
しろ	城	じ	爾	じょう	穣	すけ	助	ਰੈ	豆
しろ	代	じ	治	じょう	蝶	すけ	丞	ਰੈ	頭
しろ	白	じ	地	じょう	繩	すけ	甫	ずい	瑞
しん	伸	し	路	じょう	條	すけ	亮		

読み	又字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
せ		せつ	折	そ	素	そら	空	たか	鷹
せ	せ	せつ	設	そ	組	そる	反	たかい	裔
せ	セ	せつ	節	そ	蘇	それ	其	たかい	高
せ	施	せつ	雪	そう	桑	そん	孫	たかい	峻
せ	世	せまい	狭	そう	宗	そん	尊	たかい	嵩
せ	瀬	せまる	迫	そう	曽	そん	村	たかし	敬
せい	井	せり	芹	そう	曾	そん	樽	たかし	隆
せい	歳	せん	仙	そう	倉	ぞ		たから	宝
せい	勢	せん	先	そう	奏	ぞ	ぞ	たがやす	耕
せい	征	せん	Ŧ	そう	爽	ぞ	ゾ	たき	滝
せい	成	せん	占	そう	惣	ぞう	雑	たき	瀧
せい	政	せん	川	そう	早	ぞう	像	たく	卓
せい	整	せん	扇	そう	相	ぞう	増	たく	宅
せい	星	せん	泉	そう	糟	ぞう	蔵	たく	沢
せい	晴	せん	浅	そう	綜	ぞう	造	たく	拓
せい	栖	せん	洗	そう	草	ぞく	粟	たく	琢
せい	正	せん	染	そう	聡	た		たく	度
せい	清	せん	箭	そう	荘	た	た	たく	澤
せい	生	せん	舛	そう	蒼	た	9	たくみ	巧
せい	盛	せん	船	そう	霜	た	多	たくみ	匠
せい	聖	せん	薦	そう	鎗	た	太	たけ	岳
せい	西	せん	銭	そう	湊	た	汰	たけ	丈
せい	誠	せん	苫	そえる	添	た	手	たけ	竹
せい	青	ぜ		そく	則	た	田	たけ	嶽
せい	斉	ぜ	ぜ	そく	束	たい	碓	たけし	健
せい	静	ぜ	ゼ	そく	足	たい	対	たけし	豪
せい	靖	ぜ	是	そく	速	たい	带	たけし	武
せき	潟	ぜい	税	そだつ	育	たい	替	たけし	猛
せき	汐	ぜに	銭	そで	袖	たい	泰	たすけ	祐
せき	石	ぜん	前	そと	外	たい	袋	たすける	助
せき	積	ぜん	善	そなえる	備	たい	黛	たすける	輔
せき	赤	ぜん	全	その	園	たい	鯛	たすける	佑
せき	跡	そ		その	苑	たいら	平	たずねる	尋
せき	夕	そ	そ	その	薗	たえ	妙	たずねる	訪
せき	関	そ	ソ	そめる	初	たか	貴	たたかう	鬪
せつ	切	そ	祖	そめる	染	たか	孝	ただ	只

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
ただ	唯	たん	丹	ちから	力	ぢ		つとめる	務
ただし	但	たん	旦	ちく	築	ぢ	ぢ	つどう	集
ただしい	正	たん	淡	ちく	竹	ぢ	ヂ	つな	綱
ただす	匡	たん	炭	ちく	筑	つ		つね	恒
ただちに	直	たん	端	ちち	父	2	っ	つね	常
たちばな	橘	たん	鍛	ちゃ	茶	2	ツ	つの	角
たつ	達	たん	反	ちゃく	鏑	2	都	つばき	椿
たつ	辰	だ		ちゅう	丑	2	津	つばさ	翼
たつ	立	だ	だ	ちゅう	沖	つい	対	つぼ	坪
たつ	竜	だ	ダ	ちゅう	厨	つい	槌	つぼ	壷
たつ	龍	だ	打	ちゅう	中	つい	追	つま	妻
たつみ	巽	だい	代	ちゅう	仲	つか	塚	つむ	積
たっとぶ	尊	だい	台	ちゅう	宙	つかう	使	つむ	摘
たて	舘	だい	大	ちゅう	忠	つかえる	仕	つめ	爪
たて	館	だい	醍	ちゅう	昼	つかさ	司	つめる	詰
たて	楯	だい	内	ちゅう	柱	つき	月	つや	艶
たてる	建	だい	乃	ちょう	澄	つき	槻	つゆ	露
たで	蓼	だす	出	ちょう	鯛	つぎ	次	つよい	毅
たな	棚	だん	団	ちょう	猪	つくだ	佃	つよい	強
たに	谷	だん	段	ちょう	帖	つくる	作	つよし	剛
たね	胤	だん	檀	ちょう	張	つくる	造	つらなる	連
たね	種	だん	男	ちょう	暢	しへ	継	つらぬく	貫
たのしい	楽	ち		ちょう	朝	つける	付	つる	弦
たのむ	頼	ち	ち	ちょう	潮	つげ	柘	つる	鶴
たば	束	ち	チ	ちょう	町	つじ	辻	つるぎ	剣
たび	度	ち	治	ちょう	腸	つた	蔦	ゔ	
たべる	食	ち	知	ちょう	蝶	つたえる	伝	づ	づ
たま	玉	ち	地	ちょう	長	つち	地	づ	ヅ
たま	珠	ち	智	ちょう	鳥	つち	槌	つ	
ため	為	ち	池	ちょう	肇	つち	土	2	2
たもつ	保	ち	稚	ちょく	勅	22	筒	2	ツ
たりる	足	ち	置	ちょく	直	つつしむ	欽	T	
たる	樽	ち	茅	ちん	珍	つつしむ	慎	て	て
たれる	垂	ち	Ŧ	ちん	鎮	つつみ	堤	て	テ
たわら	俵	ちいさい	小	ちん	椿	つとめる	努	て	手
たん	但	ちかい	近			つとめる	勉	てい	鵜

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
てい	醍	2	부	とおい	遠	とん	団	ながれる	流
てい	貞	2	杜	とおる	亨	とん	惇	なぎ	凪
てい	定	2	渡	とおる	徹	とん	敦	なぎ	薙
てい	堤	2	都	とき	時	ど		なぎさ	渚
てい	庭	2	È	とき	鴇	F.	ど	なく	鳴
てい	悌	とい	樋	2<	得	F.	ド	なごむ	和
てい	梯	といし	砥	2	徳	Ŀ	努	なし	梨
てい	碇	とう	稻	2<	篤	Ŀ	土	なす	茄
てい	禎	とう	桶	とく	研	Ŀ	度	なっ	納
てい	釘	とう	桐	とこ	床	どう	働	なつ	夏
てき	荻	とう	沓	とこ	常	どう	同	など	等
てき	摘	とう	登	ところ	所	どう	堂	なな	七
てき	的	とう	冬	とし	歳	どう	洞	なべ	鍋
てき	笛	とう	Л	とし	年	どう	朣	なま	生
てき	鏑	とう	唐	とし	利	どう	童	なみ	波
てつ	哲	とう	塔	とち	栃	どう	道	なみ	並
てつ	徹	とう	島	ととのえる	5整	どう	銅	なみ	浪
てつ	鉄	とう	嶋	とどろく	真轉	2"<	毒	なめらか	滑
てら	寺	とう	東	となえる	唱	どん	墨	なら	楢
てる	輝	とう	桃	との	殿	な		ならう	習
てる	照	とう	楝	とぶ	飛	な	な	なり	也
てん	典	とう	湯	とま	苫	な	ナ	なる	成
てん	夭	とう	当	とむ	富	な	奈	なわ	繩
てん	添	とう	等	とむ	富	な	那	なん	南
で		とう	筒	とめる	留	な	菜	なん	楠
<u>(</u> "	で	とう	藤	とも	智	な	名	なん	難
<u>(</u> "	デ	とう	豆	とも	朋	ない	内	なんじ	爾
でる	出	とう	透	とも	友	なえ	苗	に	
でん	佃	とう	陶	ともえ	巴	なお	尚	に	に
でん	伝	とう	頭	ともなう	伴	なおす	直	に	ニ
でん	殿	とう	鬪	とよ	豊	なおる	治	に	児
でん	田	とう	嶌	25	虎	なか	4	に	-
と		とうとい	貴	25	寅	なか	仲	に	尼
2	と	とうとい	尊	とり	鳥	なかば	半	に	丹
2	ト	とうげ	峠	とり	酉	ながい	永	にい	新
2	図	とお	+	とる	取	ながい	長	におう	匂
42		-		•					

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
にし	西	のぞむ	望	はく	白	はなはだしい	甚	ば	バ
にしき	錦	のち	後	はく	粕	はなわ	塙	ば	馬
にじ	虹	のびる	延	はく	薄	はね	羽	ば	場
にち	E	のびる	伸	はく	迫	はは	母	ばい	倍
にな	蜷	のびる	暢	はげしい	烈	はば	幅	ばい	梅
にゅう	λ	のぼる	昇	はこ	箱	はま	浜	ばく	麦
にら	韮	のぼる	上	はこぶ	運	はま	濱	ばん	番
にわ	庭	のぼる	登	はざま	硲	はやい	早	ばん	盤
にん	忍	のり	紀	はし	橋	はやい	速	ぱ	
ぬ		のり	規	はし	端	はやし	林	ぱ	ぱ
な	ね	のり	憲	はしご	梯	はやぶさ	隼	ぱ	パ
な	X	のり	典	はしら	柱	はやる	逸	ひ	
ぬし	主	のり	範	はじめ	初	はら	原	ひ	V
ぬの	布	のり	法	はじめ	肇	はり	榛	ひ	F
ぬま	沼	のる	乗	はじめ	甫	はり	針	ひ	뿇
ね		は		はじめ	孟	はり	梁	ひ	比
ね	ね	は	は	はす	蓮	はる	春	U	肥
ね	ネ	は	ハ	はずす	外	はる	張	ひ	飛
ね	袮	は	巴	はぜ	枦	はるか	遥	ひ	火
ね	音	は	覇	はた	旗	はるか	遼	ひ	日
ね	根	は	播	はた	秦	はれる	晴	ひ	樋
ねい	寧	は	波	はた	幡	はん	坂	ひ	氷
ねつ	熱	は	破	はた	畠	はん	阪	ひ	陽
ねん	年	は	葉	はた	籏	はん	幡	ひいでる	秀
ねん	念	はい	配	はたけ	畑	はん	伴	ひいらぎ	柊
の		はい	稗	はたす	果	はん	半	ひえ	稗
\mathcal{O}	の	はいる	λ	はたらく	働	はん	反	ひがし	東
\mathcal{O}	1	はえる	栄	はち	入	はん	帆	ひかり	光
\mathcal{O}	埜	はえる	生	はち	鉢	はん	板	ひき	疋
\mathcal{O}	乃	はかま	袴	はち	蜂	はん	班	ひく	引
の	之	はかる	諮	はつ	発	はん	畔	ひく	曳
の	野	はかる	図	はつ	初	はん	繁	ひこ	彦
のう	納	はぎ	萩	はと	鳩	はん	範	ひさしい	久
のう	濃	はく	伯	はな	花	はん	飯	ひし	菱
のう	能	はく	博	はな	華	ば		ひしくい	鴻
のう	農	はく	柏	はな	鼻	ば	ば	ひじり	聖

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
ひたい	額	Сř	ビ	ふく	副	ぶつ	物	ほ	浦
ひだり	左	Сř	梶	ふく	服	ぶん	文	ほ	蒲
ひつじ	未	Сř	尾	ふく	幅	ぷ		ほ	保
ひと	人	Ŭ	備	ふく	福	ی گ	3:	ほ	步
ひとしい	等	Ŭ	美	ふく	吹	ぶ	プ	ほ	甫
ひとつ	-	Ŭ	眉	ふくろ	袋	^		ほ	輔
ひとみ	朣	Ŭ	鼻	ふける	更	\land	\sim	ほ	火
ひな	雞	びょう	苗	ふける	老	\land	\sim	ほ	帆
ひのき	桧	びん	敏	ふさ	房	へい	兵	ほ	穂
ひのき	檜	びん	瓶	ふし	節	へい	平	ほう	逄
ひびく	響	ぴ		ふじ	藤	へい	並	ほう	宝
ひめ	姫	V	Ŋ	ふす	伏	へい	柄	ほう	峰
ひめ	媛	V	ピ	ふせぐ	防	へき	壁	ほう	峯
ひゃく	百	ふ		ふだ	札	へき	碧	ほう	朋
ひょう	俵	Ň	3.	ふたつ	-	へる	経	ほう	方
ひょう	氷	Ň	フ	ふたつ	両	へん	片	ほう	法
ひょう	表	Ň	釜	ふち	淵	へん	辺	ほう	芳
ひら	平	Ň	不	ふち	渕	へん	邊	ほう	萌
ひらく	開	Ň	付	ふとい	太	へん	邉	ほう	蜂
ひらく	拓	л.	夫	ふね	舟	ベ		ほう	蓬
ひる	Ŧ	Ň	富	ふね	船	\checkmark	べ	ほう	訪
ひる	昼	Ň	富	ふみ	史	\checkmark	べ	ほう	邦
ひる	蛭	<i>i</i> ci	布	ふみ	文	\sim	部	ほう	豊
ひろい	寛	Ň	府	ふもと	麓	\checkmark''	邊	ほう	鳳
ひろい	宏	Ň	敷	ふゆ	冬	\checkmark''	邉	ほお	朴
ひろい	広	Ň	浮	ふる	降	\checkmark	辺	ほか	外
ひろい	弘	Ň	普	ふるい	古	べい	米	ほがらか	朗
ひろい	浩	Ň	父	ふん	分	べつ	別	ほく	北
ひろい	博	Ň	附	ぶ		べに	紅	ほし	星
ひろい	廣	<i>i</i> ci	步	Ň	ぶ	べん	勉	ほす	Ŧ
ひん	品	ふう	風	Ň	ブ	~		ほそい	細
ひん	彬	ふえ	笛	ی آذر	ヴ	\sim	ペ	ほたる	蛍
ひん	浜	ふえる	増	ی آذر	武	\sim	ペ	ほどこす	施
ひん	濱	ふかい	深	Ň	舞	ほ		ほまれ	誉
び		ふき	蕗	ی آذر	部	ほ	ほ	ほら	洞
び	び	ふく	伏	J.S.	蕪	ほ	ホ	ほり	堀

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
ほん	本	まく	蒔	まるい	円	みなもと	源	め	目
ぼ		まく	播	まろ	麿	みね	峰	めい	名
ぼ	ぼ	まご	孫	まわり	周	みね	峯	めい	明
ぼ	ボ	まこと	信	まん	万	みね	嶺	めい	銘
ぼ	母	まこと	誠	まん	満	みの	蓑	めい	鳴
ぼ	暮	まさ	雅	み		みのる	稔	めぐむ	恵
ぼう	虻	まさ	昌	み	4	みや	宮	めし	飯
ぼう	傍	まさ	正	み	3	みやこ	都	めずらしい)珍
ぼう	坊	まさ	柾	み	未	みょう	妙	めん	綿
ぼう	房	まさに	将	み	味	みる	見	も	
ぼう	望	まさる	勝	み	弥	みる	覧	も	も
ぼう	防	まじわる	交	み	実	む		も	モ
ぼく	ト	ます	升	み	巴	む	む	も	茂
ぼく	朴	ます	舛	み	箕	む	4	もう	孟
ぼく	牧	ます	増	みがく	磨	む	武	もう	毛
ぼく	睦	ます	桝	みき	幹	む	務	もう	猛
ぽ		ますます	益	みぎ	右	む	夢	もう	網
ぽ	ぽ	また	股	みことのり	助	む	牟	もうける	設
ぽ	ポ	また	亦	みさき	岬	むぎ	麦	もえる	萌
ま		また	又	みず	水	むく	向	もく	木
ま	£	また	俣	みず	瑞	むく	椋	もく	目
ま	7	まち	町	みずうみ	湖	むずかしい	難	もしくは	若
ま	摩	まつ	末	みずのえ	Ŧ	むすぶ	結	もちいる	庸
ま	磨	まつ	松	みぞ	渠	むっつ	六	もつ	持
ま	麻	まつり	祭	みぞ	溝	むつまじい	睦	もっとも	最
ま	間	まつりごと	政	みち	道	むね	宗	もと	下
ま	真	まったく	全	みち	路	むね	楝	もと	基
ま	目	まと	的	みちる	満	むら	村	もと	元
まい	米	まなぶ	学	みっつ	1=1	むら	邑	もと	素
まい	妹	まめ	豆	みどり	翠	むらさき	紫	もと	本
まい	毎	まもる	護	みどり	碧	むろ	室	もの	者
まい	舞	まもる	守	みどり	緑	め		もの	物
まえ	前	まゆ	眉	みな	皆	8	め	もみ	籾
まき	卷	まゆずみ	黛	みなと	港	8	×	もみじ	椛
まき	牧	まり	鞠	みなと	湊	8	芽	もも	桃
まき	槙	まる	九	みなみ	南	め	女	もも	百

読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字	読み	文字
もり	守	やなぎ	楊	ゆか	床	よう	要	らん	蘭
もり	森	やぶ	薮	ゆき	雪	よう	遥	らん	覧
もり	杜	やぶ	藪	ゆく	行	よう	陽	67	
もる	盛	やぶる	破	ゆず	柚	よう	入	IJ	h
もろもろ	諸	やま	山	ゆたか	豊	よく	翼	IJ	リ
もん	門	やり	鎗	ゆたか	裕	よこ	横	IJ	鯉
や		やり	鑓	ゆび	指	よし	佳	IJ	利
や	や	やわらかし)柔	ゆみ	弓	よし	義	IJ	吏
や	ヤ	やわらぐ	和	ゆめ	夢	よし	吉	IJ	李
や	也	や		ゆれる	摇	よし	由	IJ	梨
や	冶	や	や	ゆ		よっつ	四	IJ	理
や	野	や	ヤ	ø	ゆ	よど	淀	IJ	里
や	耶	ŀØ		ø	ユ	よね	米	りく	陸
や	椰	Ю	ゆ	よ		よみがえる	5 蘇	りつ	律
や	屋	Ю	ユ	よ	よ	よもぎ	蓬	りつ	立
や	家	Þ	油	よ	Э	よる	依	りゅう	笠
や	哉	Þ	諭	よ	予	よる	寄	りゅう	柳
や	箭	ф	由	よ	余	よろこぶ	喜	りゅう	流
や	谷	ф	湯	よ	与	よろこぶ	欣	りゅう	琉
や	弥	ゆい	唯	よ	誉	よろこぶ	慶	りゅう	留
や	矢	ゆう	右	よ	輿	よろしい	宜	りゅう	隆
やかた	舘	ゆう	佑	よ	世	よろず	万	りゅう	竜
せく	益	ゆう	勇	よ	代	よ		りゅう	龍
や <	役	ゆう	優	よい	嘉	£	ł	りょ	呂
や <	薬	ゆう	友	よい	善	£	Э	りょう	菱
やさしい	優	ゆう	悠	よい	良	6		りょう	椋
やし	椰	ゆう	有	よう	腰	5	6	りょう	亮
やしろ	社	ゆう	柚	よう	鷹	5	ラ	りょう	了
やす	靖	ゆう	湧	よう	涌	5	羅	りょう	両
やすい	安	ゆう	祐	よう	幼	らい	来	りょう	僚
やすい	康	ゆう	裕	よう	容	らい	頼	りょう	梁
やすい	泰	ゆう	遊	よう	庸	らい	礼	りょう	涼
やっつ	入	ゆう	邑	よう	摇	5<	楽	りょう	良
やど	宿	ゆう	雄	よう	楊	5<	落	りょう	諒
やな	簗	ゆう	結	よう	洋	らん	嵐	りょう	遼
やなぎ	柳	ゆう	夕	よう	葉	らん	藍	りょう	領
						1			

読み	文字	読み	文字	読み	文字
りょう	蓼	ろう	浪	を	
りょく	力	ろう	篭	を	を
りょく	緑	ろう	老	を	ヲ
りん	倫	ろう	郎	h	
りん	林	ろう	籠	h	h
りん	輪	ろく	鹿	h	ン
3		ろく	六		
3	3	ろく	麓		
3	ル	ろく	禄		
るい	類	わ			
n		わ	わ		
れ	n	わ	ワ		
れ	V	わ	窪		
れい	令	わ	和		
れい	嶺	わ	倭		
れい	怜	わ	輪		
れい	玲	わい	隈		
れい	礼	わかい	若		
れい	鈴	わかれる	別		
れい	麗	わき	脇		
れつ	烈	わく	湧		
れん	鎌	わく	涌		
れん	廉	わける	分		
れん	連	わし	鷲		
れん	蓮	わた	綿		
3		わたる	涉		
ろ	ろ	わたる	渡		
ろ		わたる	亘		
ろ	芦	わびる	詫		
ろ	蕗	わら	藁		
ろ	呂	わらう	笶		
ろ	路	わらべ	童		
ろ	露	わる	割		
ろ	枦	われ	我		
ろう	瀧	われ	푬		
ろう	朗				

USBメモリから刺しゅうデータを読み込む.

🚺 注意:故障防止のために

- USB メモリ以外の USB 機器は接続しないでください。誤動作や、刺しゅう機、ミシン本体の故障をまねく恐れがあります。
- USB メモリは付属していません。市販の USB メモリをお使いください。(一部の USB メモリは読み込めない場合があります)

USB メモリに保存された刺しゅうデータを、 刺しゅう機に読み込んでぬうことができま す。当社ホームページからダウンロードした データ「.epl」、工業用刺しゅうデータ「.dst」 を読み込むことができます。(49ページ参照)

お知らせ:

一部の刺しゅうデータは、きれいにぬえないことや、糸絡みを引き起こすことがあります。必ず別の布で試しぬいをしてください。

- パソコンを使って、「.epl」、「.dst」ファイ ルを USB メモリの最上層に保存します。 お知らせ: ファイルの保存については、49ページを参照してく ださい。
- USB メモリをパソコンから取り外します。 (お使いのパソコンの取扱説明書にしたがって、安全 に取り外してください)
- 3. USB メモリを刺しゅう機の USB メモリ 差し込み口に差し込みます。
- タイトル画面で USB ボタンをタッチします。ファイルの一覧が表示されます。 お知らせ:
 8 文字を超えるファイル名は変更されて表示されます。 (49 ページ参照) USB メモリに保存された刺しゅうデータを読み込ん だ場合、画面に刺しゅうイメージは表示されません。
 ぬいたい刺しゅうデータのファイル名を
- スロインに刺じゆうアーダのファイル名を タッチします。設定画面が表示されます。 お知らせ:
 a.刺しゅう可能範囲(10 cm × 10 cm)、針数の上限(10,000)、色替え回数の上限(225)を超えるファ イルは選択できません。
- 6. 模様の刺しゅうと同じ手順で設定し、ぬ います。
- **注意** 操作や刺しゅうをしている間は、 USB メモリを外さないでください。



48

追加模様のご案内.

この刺しゅう機では、内蔵の刺しゅうデータ以外に当社ホームページからパソコンを使って USB メモリにダウンロードした刺しゅうデータをぬうことができます。 詳しくは、販売店に問い合わせるか、下記の当社ホームページをご覧ください。

http://singer-shisyu-studio.com

ダウンロードには、インターネットに接続でき、USB メモリに保存できる環境のパソコン が必要です。

ダウンロードに通信料がかかる場合は、お客様ご負担になります。ご了承ください。 ダウンロードしたデータの読み込みについては、48ページを参照してください。

お知らせ:

刺しゅう可能範囲(10 cm × 10 cm)、針数の上限(10,000)、色替え回数の上限(225) を超えるファイルは、この刺しゅう機では使用できません。

ファイルの保存について

- ・刺しゅうデータのファイルは、USBメモリの最上層に保存してください。ファイルが USBメモリのフォルダ内に保存されている場合は、刺しゅう機に読み込めません。
- ファイル名には、半角の英数字と記号(一部の記号を除く)を使用してください。使用 できない文字は正しく表示されません。
- 8 文字を超えるファイル名は、先頭の 6 文字が表示され、それ以降の文字は「~」と数 字に置き換えられて表示されます。

糸調子について_

ご使用の糸や布地によって、糸調子は変わってきます。また、糸調子を弱くしすぎると、糸がからんでぬえなくなる場合があります。

同じ布に試しぬいをして、糸調子を調節してください。

<u>A 正しい糸調子</u>

布地の裏に上糸が少し出てきます。

<u>B 上糸が強すぎるとき</u>

布地の表側に下糸が出てしまうときは、上糸 調子を弱くします。

C上糸が弱すぎるとき

上糸がたるんだり、輪ができてしまうときは、 上糸調子を強くします。



上糸のかけ方や、下糸のセットの仕方が間違っていると、正しい糸調子になりません。ミシンの使用の手びきをご覧になり、正しく行ってください。

メッセージー覧____

主なメッセージの一覧です。 ミシンや刺しゅう機の状態により、これ以外のメッセージが表示されることもあります。

送り歯は下げましたか? ▲▲ ★★ 「「↓」 しいえ	刺しゅう機接続時、送り歯を下げま したか? 「はい」か「いいえ」を タッチしてください。	⚠ 文字入力エラー ⚠ 文字を選択してください。	文字を選ばずに次へ進もうとしてい ます。文字を選んでください。
電源を切って、送り歯を 下げてください。 ① ON OFF ② ▲▲ ★★ [[]] ↓ ○ [[]] ↓ ○ [[]] ↓	送り歯を下げていないとき、電源を 切ったあと、刺しゅう機を取り外 し、送り歯を下げてください。	タイトル画面に戻ります。 よろしいですか? 【は い】 「いいえ	「⇒」を長押しした場合、タイト ル画面に戻ります。戻るときは「は い」、戻らないときは「いいえ」を タッチしてください。
押えが下がっています。 押えを上げて[0K]を 押して下さい。	押えが下がっています。押え上げレ バーで押えを上げてから、「OK」 をタッチしてください。	▲ 文字入力エラー▲ これ以上、入力できません。	文字を選択中に刺しゅう範囲を超え ました。これ以上選べません。
針が下がっています。 針を上げて[oĸ]を 押して下さい。	針が下がっています。針上下ボタン を押すか、ハズミ車を手前に回して 針を上げ「OK」をタッチしてく ださい。	縫いを中止し設定画面に 戻ってもよろしいですか? 〔は い〕 〔いいえ〕	ぬい画面で「 ニ 」をタッチすると、 設定画面に戻ります。「はい」で設定 画面に戻ります。「いいえ」でぬい画 面のままになります。
° CN) ¢ @B	糸巻き軸が右に押されています。糸 巻き軸を左に戻して、「OK」をタ ッチしてください。	 ① USB読込エラー 計数・色替回数または 柄サイズオーバーです。 メニューに戻ります。 	USBメモリから読み込もうとしてい るデータが大きすぎます。他の模様 を選んでください。
フットコントローラーを ミシンからはずし、[OK]を 押して下さい。	フットコントローラーがミシンに接 続されています。外して、「OK」 をタッチしてください。	<u>小</u> エラー <u>小</u> 糸をかけ直して [OK]を 押して下さい。	上糸、下糸がなくなったり、切れて いないか確認して、糸をかけ直して ください。
キャリッジが動きます。 よろしいですか? [はい]	キャリッジが動きます。キャリッジ の周りに注意して、「はい」をタッ チしてください。	① 通信エラー ② 電源を入れ直して下さい	電源を切り、ミシンと刺しゅう機の 接続を確認して、電源を入れ直して ください。
収納位置に移動します。 よろしいですか? [はい] [いいえ]	キャリッジが収納位置に動きます。 動かすとき「はい」、そのままの とき「いいえ」をタッチしてくだ さい。		
開始位置に移動します。 よろしいですか? [はい] [いいえ]	キャリッジが開始位置に動きます。 動かすとき「はい」、そのままの とき「いいえ」をタッチしてくだ さい。		
① エラー <u>①</u> 針の位置が異常です。 電源を入れ直して下さい	刺しゅう枠の移動中に針が下がりま した。危険ですので、針上下ボタ ンを押すか、ハズミ車を手前に回 して針を上げ、電源を入れ直してく ださい。		
⚠ エラー ⚠ 原点センサー異常 電源を入れ直して下さい	センサーの異常のため、キャリッジ が刺しゅう開始位置に戻れません。 電源を入れ直してください。		

刺しゅう機の収納

刺しゅう機と、その付属品は、キャリン グバッグに収納できます。

- キャリングバッグのファスナーを開き ます。
- 発泡スチロール(下)をキャリングバックの中に入れます。
- 3. 刺しゅう機を入れます。
- * 刺しゅう機のキャリッジは、6ページの手順に 従って、収納位置に移動して、たたんでください。 また、操作ボックスも閉じてください。 これらが、正しい位置にないと発泡スチロールに 入りません。
- 4. 発泡スチロール(上)をかぶせます。
- 5. 刺しゅう押えを発泡スチロール(上) の中に入れます。
- 6. 刺しゅう枠を発泡スチロール(上)の 形に合わせ、のせます。
- 使用の手びき、テンプレートなどをの せます。
- キャリングバックのフタをかぶせて、 ファスナーを閉めます。



刺しゅう機の仕様 _

寸法	収納時 幅:325 mm ×高さ:130 mm × 奥行き:130 mm						
(突起を除く)	使用時 幅:325 mm ×高さ:130 mm × 奥行き:240 mm						
重さ	約 2.0 kg						
ぬい速度	最大 400 針/分(自動調節)						
ぬい範囲	最大 10 cm × 10 cm						
内蔵模様	ワンポイント 100 種類 (25 ~ 27 ページ)						
	大型 10 種類 (28 ページ)						
	キルト 30 種類 (29~31ページ)						
内蔵文字	ひらがな、カタカナ、記号:1 書体 (32 ページ)						
	アルファベット/数字:4 書体 (32 ページ)						
	漢字 1216 文字 (33 ~ 47 ページ)						

修理サービス要領」

●修理サービスのご相談

- 1 この刺しゅう機のご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内 容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 2 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談 ください。

修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、製造打ち切り後、通常8 年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

無料修理保証期間後の修理サービス

- 1 使用の手びきに基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても 修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。 ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談く ださい。
 - イ 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - □ 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 二 ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または 改造したために不調、故障または損傷したとき。
 - ホ 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2 長期間にわたってご使用された刺しゅう機の精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
- 3 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。
- 4 この刺しゅう機は持ち込み修理品ですので、修理の際はご購入店までお持ち込みくださるよう、 お願いいたします。

160年以上も家庭用ミシンを作り続けてきたシンガーは、迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭に安心して使えるミシンをお届けいたしております。

お問い合わせまたはご相談先 (純正部品の購入方法)_

シンガーミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊社「シンガー ミシンお客様相談係」でも承っておりますのでご遠慮なくお申し越しください。

株式会社ハッピージャパン

「シンガーミシンお客様相談係」

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号 TEL: 03-3837-1862 FAX: 03-3837-0072

* 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。

^{*} シンガー純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「シンガーミシンお客様相談係」 におたずねください。

●無料修理保証について

- 1. 無料修理保証期間(ご購入の日から1カ年間)内に故障した場合は、無料で故障箇所の修理調整または故障部品の交換をいたします。
- 2. 無料修理保証は表記刺しゅう機のみとします。
- 3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
- 4. 無料修理保証をお受けいただくときは、刺しゅう機を購入店へご持参またはご相談ください。

●無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

- 「使用の手びき」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき。
- 2. 浸水、冠水、火災等、天災地変により不調、故障または損傷したとき。
- 3. ご購入後の移動または輸送によって、不調、故障または損傷したとき。
- ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、 故障または損傷したとき。
- 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 6. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除等をしたとき。
- 7. この保証書のご提示がなかったとき。
- 8. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
- 9. この保証書の字句の訂正または書き換え等をしたとき。
- 10. この保証書は日本国内に限り有効といたします。

●有料修理について

- 1. 上記の 1. ~ 10. に該当する場合、その他有料で修理をするときの費用は、別に定める必要部品代、 出張費および技術料の合計額といたします。
- 2. 無料修理期間中にお客様のご依頼によって販売店が出張修理する場合は、別に定める出張費をいた だきます。

●お客様へのお願い

- 1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従っ てこの保証書によってお客様の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理に ついて、ご不明の場合はご購入店または、当社の「お客様相談係」等へお問い合わせください。
- 2.「使用の手びき」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
- 3. この保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保存してください。



				保			٦. T	書	
機械本体がお客様の正常な使用状態で万一故障した 場合は、裏面記載の内容で無料修理を保証します。									
型	3	式	El	J-2、	JSP)	機 械 番 号		
*お	買上に	プ日		年	月	Β	保証期間	お買い上げ日より本体1年	
* お	ご住	三所	<u> </u>		<u>T</u>	EL:			
客 様	っ! ご 芳	」ガナ ;名						様	
* 販	住	所	<u> </u>						
売 店	店	名						TEL:	

* 印欄に記入のない場合無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。 もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。 本書は、再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

株式会社ハッピージャパン

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号 TEL: 03-3837-1865

(本社) 〒 990-2251 山形県山形市立谷川3丁目 3515

このミシンについてお気づきの点やお問い合わせ等がございましたら、下記の弊社「シン ガーミシンお客様相談係」までご連絡ください。

「シンガーミシンお客様相談係」

TEL: 03-3837-1862 FAX: 03-3837-0072

⑦ は THE SINGER COMPANY の登録商標です。 37078 C9 EU-2JSP